

厚生労働省北海道労働局発表
平成27年8月19日

【担当】

北海道労働局労働基準部安全課
安全課長 山谷 幸雄
主任安全専門官 大森 聡
安全専門官 渡邊 哲也
電話：011-709-2311(内 3557・3551)
F A X : 011-756-0056

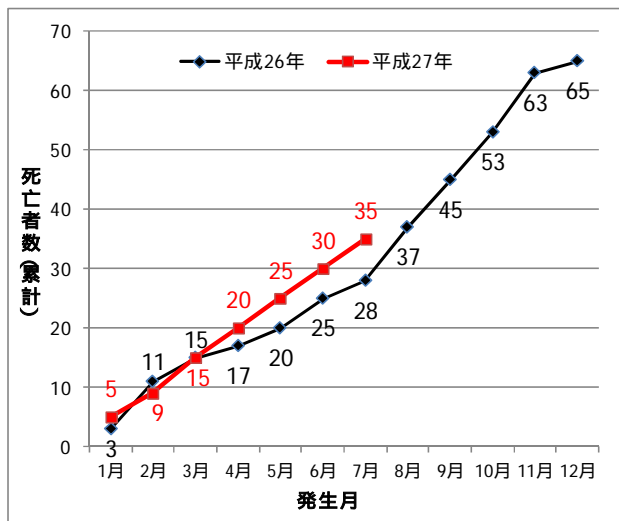
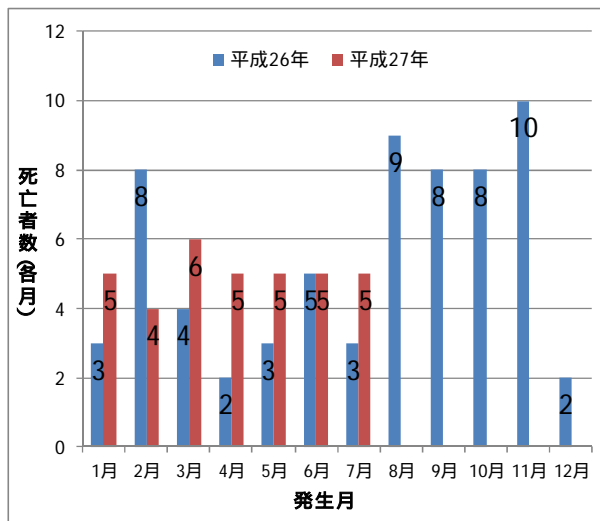
死亡労働災害は前年同期比7人増加

死傷労働災害は前年同期比1.6%減少

- 北海道内の労働災害発生状況（平成27年7月末現在速報値） -

1 労働災害による死亡者数（1月～7月）

道内の労働災害による死亡者数は、平成27年7月末現在で35人と、前年同期と比べ7人の増加となっています。



（1）業種別の状況【資料3、4】

業種別に見ると、「**建設業**」が**13人**（全体の**37.1%**、**前年同期比5人増**）と最も多く、「陸上貨物運送事業」、「商業」が各**4人**（各全体の**11.4%**、「陸上貨物運送事業」、「商業」とも前年同期比**1人増**）、「製造業」、「林業」が各**2人**（各全体の**5.7%**、「製造業」は前年同期と同数、「林業」は前年同期比**1人減**）、「港湾運送業」が**1人**の順となっています。

（2）事故の型別の状況【資料5】

災害を事故の型別で見ると、「**墜落・転落**」が**10人**（全体の**28.6%**）と最も多く、次いで、「**交通事故（道路）**」、「**はさまれ・巻き込まれ**」が各**6人**（各全体の**17.1%**）と続き、この3種類の災害で全体の**62.8%**を占めています。

2 労働災害による死傷者数（1月～7月）

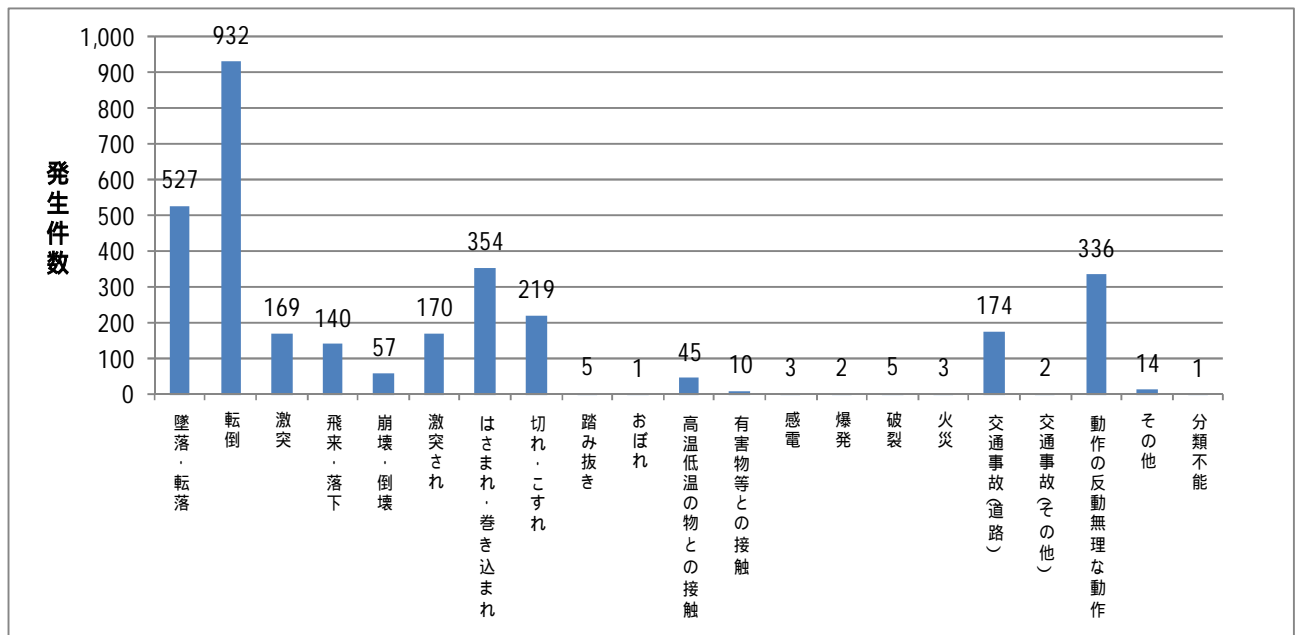
道内の労働災害による休業4日以上死傷者数は、平成27年7月末現在で、3,169人と、前年同期比52人減（1.6%減）となっています。

（1）業種別の状況【資料1、2】

業種別に見ると、「製造業」が581人（全体の18.3%、前年同期比43人増）と最も多く、次いで「商業」が471人（全体の14.9%、前年同期比14人減）、「建設業」が462人（全体の14.6%、前年比2人減）、「陸上貨物運送事業」（道路貨物運送業及び陸上貨物取扱業）が394人（全体の12.4%、前年同期比52人減）の順となっています。

（2）事故の型別の状況

災害を事故の型別で見ると、「転倒」が932人（全体の29.4%）と最も多く、次いで「墜落・転落」が527人（全体の16.6%）、「はさまれ、巻き込まれ」が354人（全体の11.2%）、「動作の反動・無理な動作」が336人（全体の10.6%）となっています。



3 北海道労働局の対応

（1）北海道労働局では先月に引き続き、建設業の死亡労働災害の多発に歯止めをかける為、8月31日まで「建設工事死亡災害根絶運動」の取組みを展開しております。

また、9月10日に開催される「平成27年度 第36回北海道産業安全衛生大会」（主催：北海道労働基準協会連合会ほか関係災害防止団体、後援：北海道労働局）について、今後、労働災害多発期を迎えるため、安全衛生管理水準と安全衛生意識の向上を図るため、多数の事業場の参加を呼び掛けています。

（2）北海道内においても熱中症による労働災害が発生しています。【資料7】

引き続き、リーフレットの配布などにより職場における熱中症防止対策を推進しています。

【添付資料】

- 1 業種別労働災害発生状況
 - 2 署別・業種別災害発生状況
 - 3 平成27年における死亡災害発生状況[速報]
 - 4 平成27年における死亡災害発生状況(その他の事業の内訳)
 - 5 平成27年 業種別・事故の型別・起因物別死亡災害発生状況
 - 6 死亡労働災害の概要(前月把握分)
 - 7 平成27年 北海道内で発生した熱中症(速報)
- (リーフレット)
- 「平成27年度 第36回北海道産業安全衛生大会」